



三島地区コミュニティだより

道標

第 1 3 8 号

創刊日 昭和63年 6月20日

発行日 平成30年 3月20日

発行責任者 三島地区コミュニティ広報部



◆ 第4回 どんど焼き体験会 開催1月28日(日) ◆



真冬の厳しい寒さの中、三島神社境内で、どんど焼きが行われました。

初めに、厄除け開運祈願の御祈禱齋行にいられた方々による「がらまき」が行われ、袋を持った子供達が撒かれたお菓子などを拾いました。

その後、家々から集められたお正月のしめ縄や古い御神札・お守り等で作られた塔（とりごや）に子供達が「御神火」で点火し、お焚上げを行いました。焼かれた竹が破裂してドーン・ドーンと、どんど焼きと呼ばれるにふさわしい大きな音を立て焼かれていく様子は壮観です。

火が落ち着いた後、境内に飾られていた繭玉を、その火で焼いて無病息災を願いながら食べました。

境内では、甘酒や団子汁が振る舞われ、雪の残る寒い中では、とても暖かく心身まで温まる素敵などんど焼きとなりました。



古布寄付の願い



福祉部では、ボランティア事業として介護福祉施設で「ウエス作り」を行っています。

「ウエス」は、ご家庭で不要になったタオルやシーツやTシャツなど吸水性の良い綿製が好まれています。現在このような古着が不足しており、随時受け付けをしていますので皆様のご協力をお願いいたします。

♥ 三島公民館に直接お持ち込みください ♥



～ 田んぼの学校（しめ飾り作り）～



12月17日（日）年度最後の恒例行事「しめ飾り作り」を三島公民館にて実施しました。親子51名が協力して22個の大きくて綺麗なしめ飾りが出来上がりました。



◆ ボランティア事業研修会(福祉部) 2月8日(木)



コミュニティ福祉部では、三島公民館講座室においてボランティア事業の研修会を開催し、38名が参加しました。

現在、福祉施設で使用するウエス作りを行っているグループと、高齢者福祉施設の入居者に傾聴ボランティアを行っているグループが活動しています。例年2月頃に、ボランティアの皆様の労をねぎらうための研修会と食事会を一緒に開催しています。研修会では、昨年大好評でした吉住安弘さんと君島和三郎さんのお二人をお招きして、今年も手品とハーモニカ、ゲーム、曲芸などをご披露いただきました。

これからも末永くご活躍をいただきますよう、どうぞよろしくお願いたします。

◆ 地域住民助け合い事業(福祉部) 2月20日(火)

三島公民館講座室において「地域住民助け合いの会」の情報交換会を開催し、自治会長や民生委員など35名が参加しました。一人暮らし高齢者などが安心した生活が送れるよう、自治会単位の活動として平成27年12月に発足しました。

初めに、社会福祉協議会や地域包括支援センター職員による寸劇が行われ、本事業について楽しく学ぶことができました。情報交換会では、6グループに分かれて各自治会の見守り



活動の課題や改善点などについて話し合い、「見守り活動の協力がなかなか得られない」「高齢者同士で見守りしていくような時代になる」など様々な意見がありました。最後に市担当職員の方から、「目指すべき先は“お互いの助け合い”」という講評があり、閉会となりました。

▼ コミュニティ 「そば打ち体験」

12月17日（日）



三島公民館の調理室で年末恒例の「そば打ち体験」を開催しました。

参加者13名が、講師の富山さん、花井さんの指導のもと、約1時間半で美味しそうな手打ちそばを作り上げました。

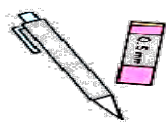
▼ 南郷屋 「介護予防教室」を開催

2月14日（水）

南郷屋自治会では、「作業療法士」の関谷明広氏（介護老人保健施設「秋桜の家」に従事）を講師にお招きし、「介護予防教室（34名参加）」を開催しました。

初めに「介護老人保健施設」と「作業療法士」について説明を受けた後、本題の「那須塩原市、南郷屋の介護現状」や「介護予防の実践（運動・脳トレーニング）」について学びました。日本社会が高齢化する中、これから社会に求められる介護は、地域包括ケアシステムとして、「共助・公助」から「自助・共助」への変革や「介護予防」です。

「介護予防」で目指すことは“介護を必要としない”“生活に援助を必要としない”“自分のことは自分でできる”状態を維持することであり、そのために必要な日常生活での簡単な運動や、脳トレーニングのやり方など、健康づくりの大切さを学び超高齢社会に向けて有意義な講習会となりました。



文具等寄付のおねがい



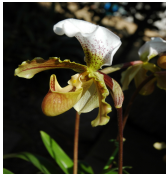
現在、三島公民館の事務所前に寄付箱を設置し、まだまだ使用できる文房具や幼児の靴などを集めています。集まった物品は那須塩原市社会福祉協議会を通じて、市在住の支援を必要としている子どもたちに届けています。

随時集めていますので、皆さまのご協力をよろしくお願いします。

☆☆ 集めているもの ☆☆

- まだまだ使用できる文房具（定規、鉛筆、シャープペン、消しゴム、下敷きなど）
- まだまだ履ける子ども靴、上履き（15cm～）
- 状態の良い子ども服（80cm～）
- 未使用の子ども肌着、下着（80cm～）
- 未使用のタオル、ハンカチ

▼ 三島公民館に直接
お持ち込みください ▼



～地域だより～



◆ **東赤田**： **新年交流会 1月6日（土）**



公民館で今年最初の顔合わせになる新年交流会を開催しました。

昔ながらの伝統行事である「繭玉づくり」では、色とりどりの団子を小学生たちが木に刺して完成です。庭先では力持ちの男性陣が杵を持ち上げ、威勢のよい掛け声を合図にあっという間に餅が出来上がりました。テーブルを囲んで今年も健康で暮らせるようお願いながらつき立ての餅やけんちん汁を頂きました。

◆ **東三島**： **友愛訪問 1月21日（日）**

東三島では、福祉部を中心に自治会役員、民生委員協力のもとに、75歳以上の方を対象にお弁当をお渡ししながら元気なお姿を確認する活動を行っています。

たくさんの笑顔を見ることができ、有意義な一日でした。



◆ **西三島**： **ボウリング大会 1月19日（金）**



いきいき百歳体操で知り合ったお友達と一緒に、ボウリングを楽しみましょう！！と、ボウリング大会が開催されました。

いつものいきいき百歳体操の後に、ボウリング場へ。40歳～80歳代の方まで、37名が参加しました。

「生まれて初めてボウリングをした」という方もいて、大いに盛り上がりました。

優勝は70歳代男性。表彰式は、翌週のいきいき百歳体操の後に行いました。

編集後記 平昌（ピョンチャン）オリンピックで日本はメダルラッシュとなり、たくさんの感動をいただきました。連日、テレビの前で熱い声援を送った方も多いのではないのでしょうか。これまでの厳しい練習の成果を出せた選手がいましたが、残念な結果となってしまった選手もいました。しかしオリンピックに出場できること自体が素晴らしいことで、それに向けて続けてきた努力は決して無駄にはなりません。

折角の機会ですので、皆さんも2年後、4年後を目指して何かを始めてみるのも良いのではないのでしょうか。(S.Y)